

2026年5月8日

各位

会社名：インフロニア・ホールディングス株式会社
代表者名：代表執行役社長 岐部 一誠
(コード：5076 東証プライム市場)
問合せ先：財務戦略部長 出口 一剛
(TEL：03-6380-8253)

業績予想の修正及び剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2026年2月10日に公表いたしました2026年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、下記の通り2026年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、当社は、会社法第459条第1項の規定に基づき、取締役会の決議により剰余金の配当を行うことができる旨を定款に定めております。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	事業利益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想 (A)	1,130,000	77,300	69,600	92,700	60,000	229円71銭
今回修正予想 (B)	1,125,000	84,100	75,800	107,200	76,500	295円17銭
増減額 (B-A)	△5,000	6,800	6,200	14,500	16,500	
増減率 (%)	△0.4	8.8	8.9	15.6	27.5	
[ご参考]前期実績 (2025年3月期)	847,548	48,539	47,148	49,756	32,416	124円15銭

(注) 1. 事業利益は、売上高から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除し、持分法による投資損益（関連会社投資に係る売却損益を含む）を加えた、当社の経常的な事業の業績を測る利益指標です。

2. 社債型種類株式の配当金は、1株当たりの利益の算定において控除しています。

(2) 修正の理由

売上高につきましては、直近の業績動向を反映した結果、従来予想と0.4%の差異が生じました。事業利益は、建築事業及び土木事業における設計変更の獲得等により68億円増加の841億円となる見込みです。また、金融資産の評価益計上等により、税引前利益は145億円増加の1,072億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は165億円増加し765億円となる見込みです。

2. 剰余金の配当（増配）

(1) 配当の内容

① 普通株式

	決定額	直近の配当予想 (2025年2月10日公表)	前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たり配当金	90円00銭	62円00銭	30円00銭
配当金総額	23,525百万円	—	7,835百万円
効力発生日	2026年6月5日	—	2025年6月6日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

②第1回社債型種類株式

	決定額	直近の配当予想 (2025年2月10日公表)	前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たり配当金	65円00銭	同左	同左
配当金総額	1,300百万円	—	1,300百万円
効力発生日	2026年6月5日	—	2025年6月6日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、株主の皆様に対する利益の還元を経営上の重要な施策の一つとして位置付けており、中期経営計画『INFRONEER Medium-term Vision 2027』における還元方針として、配当性向40%以上、下限配当60円としております。

上記方針のもと、今回の業績予想の修正により親会社の所有者に帰属する当期利益の増額が見込まれることから、当期の普通株式に係る年間配当を直近から28円増配の普通株式1株当たり120円とし、期末配当を1株当たり90円とすることといたしました。

また、第1回社債型種類株式に係る期末配当については、2024年7月12日付「第1回社債型種類株式優先配当金の配当年率の決定に関するお知らせ」に基づき、1株当たり65円とすることといたしました。

(ご参考) 年間配当の内訳

(1) 普通株式

	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期 末	年 間
当期実績	30円00銭	90円00銭	120円00銭
前期実績	30円00銭	30円00銭	60円00銭

(2) 第1回社債型種類株式

	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期 末	年 間
当期実績	65円00銭	65円00銭	130円00銭
前期実績	21円72銭	65円00銭	86円72銭

以 上